

東北大学法科大学院 教員紹介(専任教員)

芹澤 英明 SERIZAWA, Hideaki

現職

東北大学大学院法学研究科教授

主な経歴

東京大学法学部(私法コース)卒業 昭和58年3月

東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了(法学修士) 昭和60年3月

英国エセックス大学法学部大学院修了(M. Phil. in Law) 昭和61年9月

東京大学法学政治学研究科博士課程単位取得退学 平成3年3月

東北大学法学部助教授 平成3年4月

東北大学法学部教授 平成11年5月

東北大学大学院法学研究科教授 平成12年4月

担当科目

外国法文献研究Ⅰ(英米法)、実務外国法、リーガル・リサーチ、
現代アメリカの法と社会、トランスナショナル情報法、法と経済学

主要業績

学術論文

1. 「1 アメリカ合衆国」(単著)(平成16年10月)(指宿信・米丸恒治編『インターネット法情報ガイド』日本評論社)(201頁)
2. 「第18章 現代アメリカ法における「婚姻(marriage)」の解釈-立法論のコンテキストとしての制定法解釈論」(単著)(平成20年1月)(辻村みよ子・河上正二・水野紀子編『東北大学21世紀COEプログラム:ジェンダー法・政策研究叢書第12巻男女共同参画のために-政策提言』東北大学出版会)(323頁)
3. 「eBay Inc. v. MercExchange, L. L. C., 126 S. Ct. 1837 (2006) - ビジネス方法特許侵害におけ

- る本案的差止命令の要件」(単著)(平成 18 年 1 月)(Law & Technology(民事法研究会)34号)(115 頁)
4. 「Computer Associates v. Altai の分析---制定法解釈のコンテキスト論」(単著)
(平成 5 年 10 月)(法学 57 卷 4 号)(1 頁)
 5. 「アメリカ法における年金信託投資規制の最近の動向---金融法との交錯」(単著)
(平成 7 年)(信託法研究 19 号)(49 頁)
 6. 「ProCD v. Zeidenberg の分析---制定法解釈のコンテキスト論・その二」(単著)
(平成 9 年 6 月)(法学 61 卷 2 号)(1 頁)
 7. 「年金信託の社会的機能---アメリカ法の 401(k)プランの投資規制を素材として」(単著)
(平成 11 年 10 月)(ジュリスト 1164 号)(1999)
 8. 「アクセス・コントロールと Preliminary Injunction(続・インターネットをめぐる法律問題)」(単著)
(平成 12 年 3 月)(ジュリスト 1173 号)(86 頁)
 9. 「アクセスコントロールと不法行為」(単著)(平成 12 年 3 月)([1999-2]アメリカ法)
(193 頁)
 10. 「[アメリカ新判例を読む]憲法第 11 修正の州の主権免責規定により, アメリカ障害者法が連邦裁判所で州政府に適用される限りにおいて違憲とされた事例——Board of Trustees of the University of Alabama v. Garrett, 121 S. Ct. 955 (2001)」(単著)
(平成 13 年 8 月)(ジュリスト 1206 号)(266 頁)
 11. 「インターネット上のファイル共有とアメリカ著作権法---Napster 事件の意義」(単著)
(平成 14 年 1 月)(コピライト 489 号)(著作権情報センター)(2 頁)
 12. 「イングランド実務法曹養成教育管見:変革の一〇年」(単著)(平成 14 年 4 月)
(法学 66 卷 1 号)(116 頁)
 13. 「インターネット上の情報の公有/共有/私有---Public Domain/Digital Commons/Private Property の解釈論」(単著)(平成 14 年 10 月)(法哲学年報 2001『情報社会の秩序問題』)
(2002) (53 頁)
 14. 「Eldred v. Ashcroft, 123 S. Ct. 769(2003)--アメリカ著作権法における著作権保護期間延長規定の合憲判決」(単著)(平成 15 年 6 月)(Law & Technology 20 号)(民事法研究会)(118 頁)
 15. 「第2章ネットワーク上の情報は誰のものか?」(単著)(平成 16 年 6 月) 青弓社編集部編『情報は誰のものか?』(39 頁)
 16. 「現代イギリス法における制定法解釈の原型(一) Lord Hardwicke の法源理論」
(単著)(平成 18 年 1 月)(法学 69 卷 6 号)(147 頁)
 17. 「現代イギリス法における制定法解釈の原型(二完) Lord Hardwicke の法源理論」
(単著)(平成 18 年 6 月)(法学 70 卷 2 号)(58 頁)
 18. 「P2P ファイル共有ソフトの宣伝行為を伴う頒布が著作権の寄与侵害(contributory infringement)に該当するとされた事例:MGM Studios, Inc. v. Grokster, 125S. Ct. 2764

(2005)」(単著)(平成 18 年 1 月)(Law & Technology(民事法研究会)30 号)(143 頁)

その他

1. 座談会「合衆国最高裁判所2004－2005年開廷期重要判例概観」
(平成 18 年 3 月[2005]アメリカ法 [安部圭介、野坂泰司、藤井樹也、酒巻匡、芹澤英明、寺尾美子(司会)])(200 頁)
2. 座談会「合衆国最高裁判所2005－2006年開廷期重要判例概観」
(平成 19 年 8 月[2006]アメリカ法 [浅香吉幹、安部圭介、酒巻匡、芹澤英明、川岸令和、藤井樹也、寺尾美子(司会)])(232 頁)

ホームページ

リンク:<http://www.law.tohoku.ac.jp/%7Eserizawa/index-j.html>